（北アルプス地域）

令和７年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	キムジャンなどワークショップを活用した地域振興事業
事業主体 （連絡先）	おおまちキムジャン実行委員会 大町市大町 3227
事業区分	①　地域協働の推進に関する事業　⑥　産業振興・雇用形成に関する事業 ア　特色のある観光地つくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,543,567 円（うち支援金：　799,000　　円）

事 業 内 容

キムジャンや水キムチ作りのワークショップ等の様々な共同体験を通じて、大町市内、近郊及び東京からの参加者の中で、コミュニティ【キムニティ】をつなげる活動を行い、大町市の地形度を上げる活動を実施。今年は 6 つのワークショップを開催。

① R7/7/31　水キムチ WS @軽井沢中公民館
② R7/8/11　水キムチ WS @東京高円寺
③ R7/8/31　水キムチ WS @東京銀座
④ R7/11/29 おおまちキムジャン@大町平公民館
⑤ R7/12/14 おおまちキムジャン@東京　代々木
⑥ R8/1/17　キムチ開き　@大町



事 業 効 果

本年度は、大町での継続的な活動に加え、新たに軽井沢および東京においてワークショップを開催できたことで、大町市の名前を広く伝えることができた。年間を通じて計 6 回のワークショップでは、延べ約 140 名の参加があり、活動の広がりと関心の高さが確認できた。また、他団体との協働にも積極的に取り組んだ。また、長野県小海町の農家との関係性を築き、無農薬で安心・安全な野菜の継続的な提供が可能となった。さらに、他団体との協働にも積極的に取り組んだ。軽井沢では、YojoFes を主催する団体と連携し、初の共同開催という形でワークショップを実現することができ、地域に根ざした新たなネットワーク構築ができ、地域協働の推進に関する事業の第一歩となった。

【目標・ねらい】

① キムニティの形成
② 大町市の知名度を上げる
③ 他の団体との協同により活動を継続、拡大

※自己評価【A】

【理由】大町市以外での活動の場を広げたことで、大町の知って貰う機会を増やすことができたため。
他団体との協働でのワークショップ開催ができ、他のエリアでのキムニティをつなげていくことができたため。

今後の取り組み

6 年目を迎える「おおまちキムジャン」の実績を基盤に、開催地を大町市に限定せず、長野県内、県外へと展開するモデル性のある取組とする。各地域の特産野菜や地元生産者と連携し、地域資源を生かした持続可能な活動を構築していく。
開催にあたっては、地域で既に活動している団体や住民組織と協働し、単発的なイベントにとどまらない継続的な実施体制づくりを目指す。これにより、キムジャン文化の普及とともに、地域に根ざした交流の場としての定着を図る。また、地域ごとの特産野菜を活用したキムジャンを通じて、参加者の来訪や交流を促進し、地域の賑わい創出につなげる。
本年は「育てた野菜をキムチにする」一連の体験を重視し、食の背景にある生産の大切さや感謝の心を学ぶ機会を提供する。特に子どもたちにとっては、食への関心を高め、健やかな食習慣を育む食育の場とする。さらに、韓国から講師を招聘し、本場のキムジャン文化や発酵食を学ぶ機会を設け、文化的理解の深化と地域・世代を超えた交流の創出を目指していく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある